



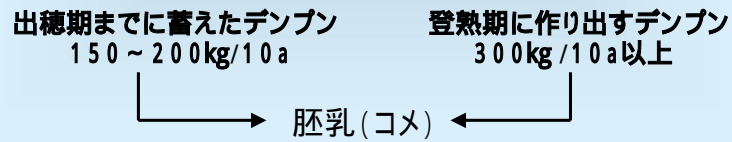
### \*\* うまいコメの条件 \*\*

- ❑ **品種の血統**
- ❑ **デンプンの組成（米の粘り）**  
 アミロペクチンとアミロースの比率  
 （うまい米はアミロースが少ない）
- ❑ **チッソの多い米はまずい**  
 蛋白質とアミロース割合が比例する  
 過剰なチッソ（アミド）は食味を落とす
- ❑ **苦土は食味を向上させる（苦土と加里の比率）**  
 苦土はアミロペクチンの生成に関与  
 苦土の吸収を高め、  
 相対的にチッソ・カリの吸収比率を下げる
- ❑ **リン酸の他、中微量元素がバランス良く吸収される**
- ❑ **登熟期の高温は米質を低下させる**

イネ作りは子実を作るコメ作り、  
**コメの中身のデンプン作り**  
 デンプンは出穂後登熟期に  
**イネの緑が太陽を受けて作る**

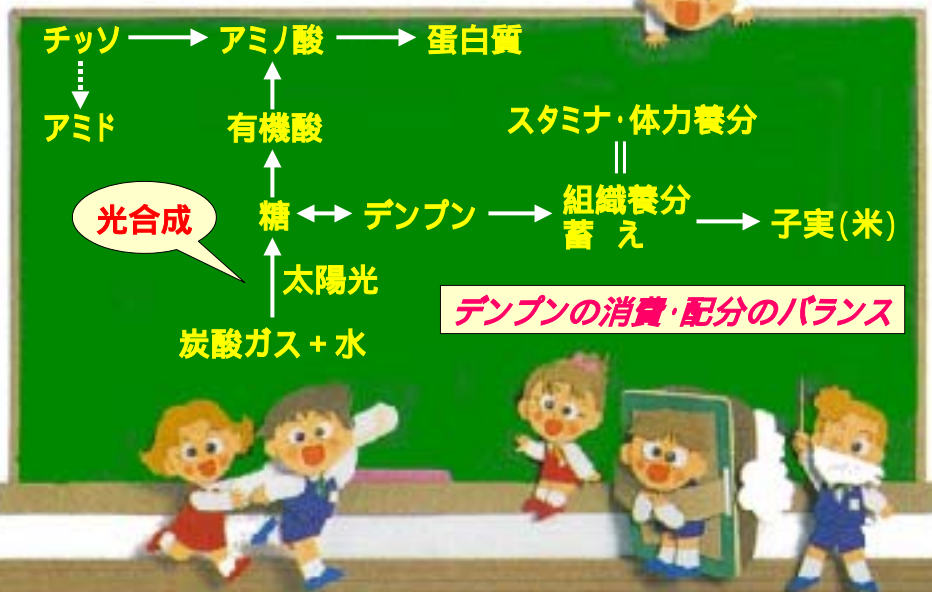
登熟の最後まで子作りに精力を尽くし、  
 天寿をまっとうしてもらおうイネ作り

**受光態勢・根**

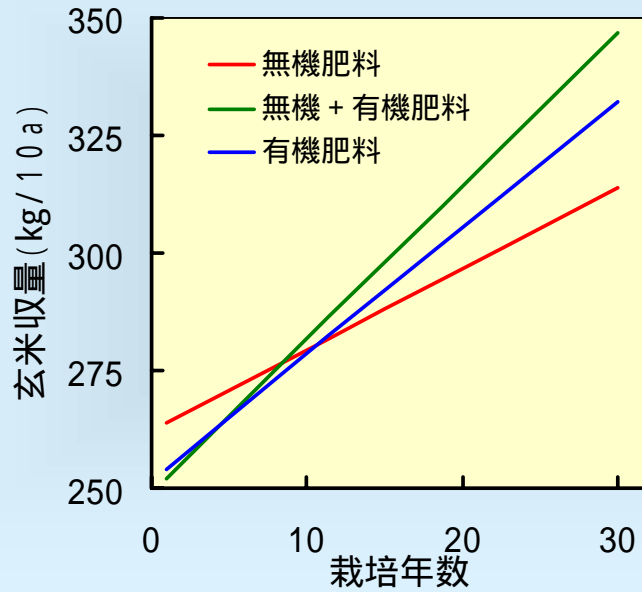


**チッソ中心からデンプン中心へ!**

窒素栄養とデンプン生産のバランス

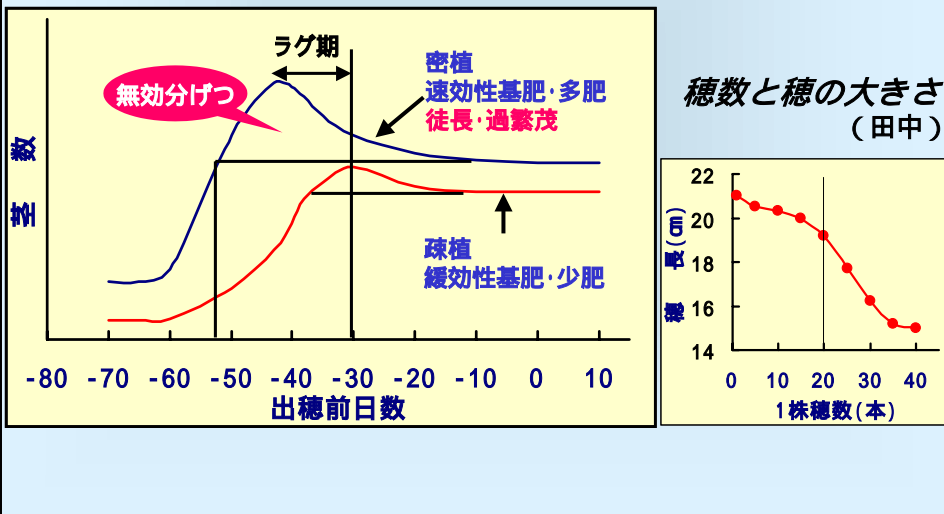


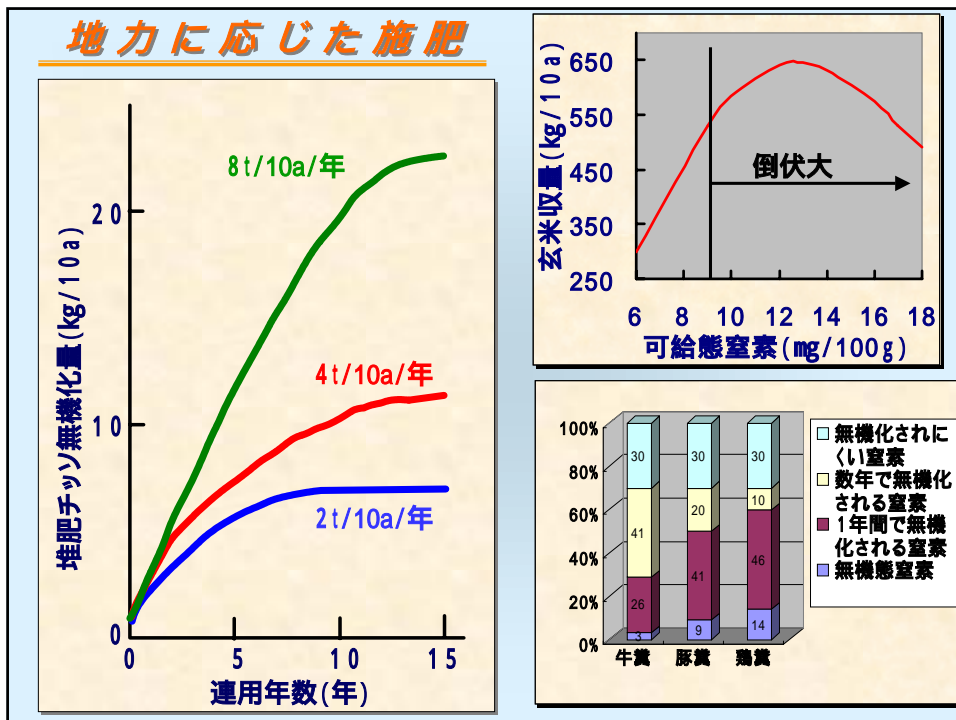
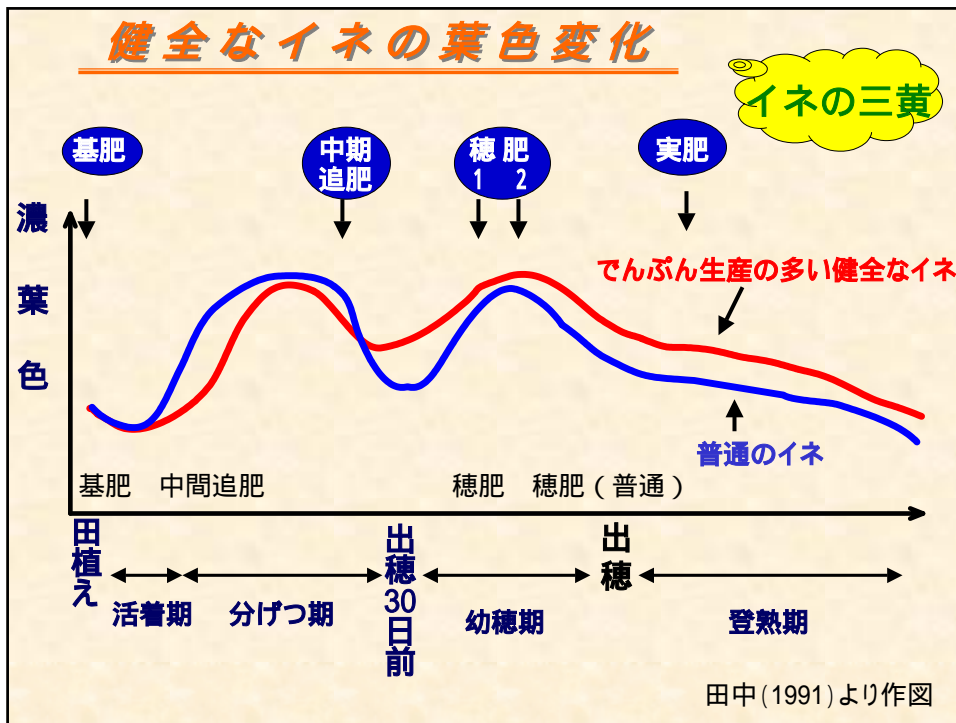
### 肥料の連用と玄米収量（城下）



### 茎数主義の問題点

#### 栽培管理とイネの生育





**でんぶん優先・健全イネの**

**生育前期(田植え～出穂45日前)の施肥管理ポイント**

**根優先の健康体作り**

**基肥チッソ少肥・少苗定植・追肥がまん**

(全層施肥が理想 基肥を地力チッソのように扱う)

前期の生育に必要なチッソ 約5 kg / 10 a

地力窒素量：3.5 kg(暖地)・3 kg(寒地)

基肥窒素量 = (5 - 3.5) × 50% (利用率) = 3 kg

分けつは7葉齢(田植え後20日過ぎ)からで十分

活着後は**間断灌水**

**施肥位置とチッソの肥効(NPK=各6kg)(高橋ら)**

|              | 無肥  | 側条  | 直下  | 深層   | 表層  | 全層  |
|--------------|-----|-----|-----|------|-----|-----|
| N吸収量(kg/10a) | 5.1 | 7.5 | 8.0 | 10.8 | 6.2 | 9.2 |
| 利用率(%)       |     | 40  | 48  | 95   | 18  | 62  |
| 精籾量(kg/10a)  | 354 | 472 | 509 | 537  | 390 | 522 |

**でんぶん優先・健全イネ**

**生育中期(出穂45～25日前)の施肥管理のポイント**

**リン酸と苦土の追肥**

出穂40～35日前にリン酸3kgと苦土2kg

**中期追肥 1～1.2kg(施肥後葉色が少し濃くなる程度)**

**早期穂肥として位置づけ**

**穂数型品種(ササニシキなど) 出穂30～35日前**

**穂重型品種(コシヒカリなど) 出穂45～35日前**

**《施肥できるイネ》**

**株が開張し、葉のたれ下がりがなく、下葉の枯れがない、**

**株元に1・2葉の分けつが発生、株内の茎が不揃い**

**葉色が薄れ色むらが出始める**

**《施肥できないイネ》**

**下葉の枯れや田の一部に葉色がボケた弱い色落ち**

**根傷みなど(排水で根の健全化が先決)**

**過繁茂で生育が停滞したイネ**

**でんぶん優先・健全イネ****生育中期(出穂45～25日前)の施肥管理のポイント****幼穂形成期穂肥**

穂重型品種：出穂16日前ごろNで2～2.5kg/10a  
(茎数過多なら2kg以下)

穂数型品種：出穂20日前ごろNで2～2.5kg/10a  
(茎数過多なら1.5kg以下)

**減数分裂期穂肥(葉色が薄い場合に施用)**

止葉から2枚下の葉が半ばまで薄れてきたころ

出穂14～10日前ごろNで1～1.5kg/10a

**実肥** 出穂7日以降の好天が続く日を選び

アンモニアの少ない肥料をNで2kg/10a

**〈施用出来るイネ〉**

出穂が早く、穂のかがみが早いこと

穂が両側のうね間に垂れ込んで株が開き、止葉が上に出て立ち、  
株内の受光よく、艶のある葉色で田が明るく見える

下葉の枯れがなく、出穂時5枚の葉が全部生きている

**〈施用出来ないイネ〉**

中期過繁茂、生育停滞の大きい、黄化不十分で受光

姿勢や根の悪い、収量500kg以上を望めないイネ

出穂が遅く、穂のかがみの小さい田が中高に見えるイネ

**でんぶん優先・健全イネの施肥**

|          |  |
|----------|--|
| 基 肥      | N 3 kg / 10 a 程度                                 |
| - 40～35日 | P 3 kg / 10 a + M g 2 kg / 10 a                  |
| - 45～35日 | Nで1～1.2 kg / 10 a<br>穂数型品種(ササニシキなど)は<br>- 35～30日 |
| - 16日    | Nで2～2.5 kg / 10 a<br>穂数型品種は - 20日                |
| - 14～10日 | Nで1～1.5 kg / 10 a<br>葉色が薄い場合                     |
| + 7日～    | Nで2 kg / 10 a<br>健全生育イネの場合のみ                     |

| 水稲（コシヒカリ）に対する“有機肥料”の効果 |          |      |             |            |               |           | 側条施肥     |
|------------------------|----------|------|-------------|------------|---------------|-----------|----------|
| 試験区                    | 桿長<br>cm | 穂数   | わら重<br>kg/a | 籾重<br>kg/a | 玄米重<br>kg/a   | 籾摺歩合<br>% | 千粒重<br>g |
| 化成<br>10-10-10         | 87.0     | 16.8 | 63.9        | 55.6       | 42.5<br>(100) | 76.4      | 21.2     |
| 化成<br>+有機肥料            | 81.4     | 21.5 | 54.2        | 62.0       | 48.5<br>(114) | 78.2      | 21.6     |
| 有機肥料                   | 77.8     | 18.7 | 50.8        | 62.8       | 49.6<br>(117) | 78.9      | 23.4     |

表中の有機肥料は有機75% (7(1.8)-6-6)のタブレット肥料 清和肥料工業㈱

有機肥料区は節間が短く、過繁茂することなく収量も高い  
有機肥料区の肥効は緩効的で、地力を高めるので、初期に肥料が効きすぎることがなく、長く・穏やかに肥料が効いてくれます

## おわり

読んでいただきありがとうございました  
一つでもお役に立つことがあれば幸いです

